

- コース距離：12.4km
- 歩行時間：約4.0時間

- 1 西武豊島園駅
↓0.2km
- 2 としまえん(跡地)
↓1.2km
- 3 不動明王
↓0.4km
- 4 高稲荷神社
↓1.6km
- 5 都立城北中央公園
↓2.1km
- 6 上板橋
↓2.0km
- 7 氷川つり堀公園
↓0.2km
- 8 氷川神社
↓2.7km
- 9 谷津大観音
↓0.5km
- 10 音無もみじ緑地
↓0.2km
- 11 金剛寺
↓0.7km
- 12 王子神社
↓0.2km
- 13 音無親水公園
↓0.4km
- 14 JR王子駅



13 音無親水公園

石神井川の旧流路に整備された公園。石神井川は北区付近では「音無川」と呼ばれており古くから行楽の名所となっていた。昭和30年代から始まった改修工事によって飛鳥山公園の下に2本のトンネルが掘られ親水公園に作り替えられた。現在、「日本の都市公園100選」に選ばれている。



12 王子神社

JR王子駅近くにある神社で、旧称王子権現。この神社が「王子」という地名の由来となっている。元亨2(1322)年、当時の領主豊島氏が紀州の熊野権現を勧請した。後に徳川家康が社領200石を寄進し、將軍家の祈願所と定め歴代の將軍が崇敬した。江戸時代にはこの神社と飛鳥山の花見は江戸名所として広く知られていた。



14 JR王子駅

JR王子駅は、東京都北区王子にある東日本旅客鉄道(JR東日本)の駅。東京メトロ南北線、都電荒川線(東京さくらトラム)も乗り入れている。



11 金剛寺

真言宗豊山派の寺院。弘法大師・空海がこの地を訪れ自ら不動明王像を彫ったと伝えられており、その不動像が本尊になっている。平安時代末期には源頼朝がここに布陣を張り、堂宇を建立また田園を寄進したと伝えられている。当寺院一帯は江戸時代から紅葉の名所として知られていたことから、紅葉寺の別称でも知られている。

8 氷川神社

元久3(1206)年、現在の所在地周辺を領有していた豊島氏が現在のさいたま市氷川神社より、素盞鳴命(すさのおのみこと)、稲田姫命(いなだひめのみこと)の分霊を奉じて社を建てたのが起源とされる。石神井川畔の景勝の地ということで選ばれた。その後も地元民が板橋宿の鎮守として信仰してきた。昭和20(1945)年の空襲で全焼したが、昭和29(1954)年に再建が始まり昭和33(1958)年に現在の社殿が完成した。



9 谷津大観音

板橋区滝野川、観音橋の北側にある観音像。真言宗豊山派寿徳寺により平成20(2008)年に建立された。銅製の観音像は、台座を含めた高さが8.5メートル、重さ5トン、地域の古くからの呼び名である「谷津」にちなんで名づけられた。



Walking Course



快汗ウォーキングコース

西武豊島園駅からJR王子駅まで 石神井川に沿って歩く半日コース



石神井川的全長は小平市から隅田川までの25.2km

1 西武豊島園駅

武蔵野鉄道(現在の西武鉄道)の駅として昭和2(1927)年に開業した。としまえんには最も近い駅。西武池袋線の練馬駅から豊島線として枝分かれてひと駅(1km)の終着駅となっている。



4 高稲荷神社

練馬区桜台の早宮橋付近にある稲荷神社。文政5(1822)年の頃より下練馬村三軒在家の守護神として勧請された。高稲荷公園の丘の上にあり公園内には130本の桜が植えられており、開花シーズンには石神井川の桜並木も見ることができるため、多くの花見客で賑わう。



2 としまえん(跡地)

昭和2(1927)年より94年間営業を続け、令和2(2020)年8月31日をもって閉園した日本で最も古い遊園地のひとつ。首都圏有数の規模の遊園地で、各種遊戯施設のほか春のソメイヨシノ、初夏のアジサイの花の名所として、また夏のプールなどで多くの人が訪れる都会のオアシスとなっていた。併設のグラウンドは企業、学校の運動会などにも利用されていた。



5 都立城北中央公園

練馬区から板橋区にかけて広がる都立公園。城北地区最大の総合公園で、野球場、テニスコート、こども広場、ドッグランなどの施設がある。周辺住民の憩いの場、また運動の場となっている。



3 不動明王

石神井川に架かる大橋付近にある不動明王像。江戸時代後期、文政4(1821)年に旧下練馬村早淵、現在の練馬区早宮の念仏講中により建立された。相模の大山に詣でる人がここで禊(みそぎ)を行ったとい伝えられている。



7 氷川つり堀公園

石神井川の旧川道を利用して作られた板橋区営の釣り堀公園。無料で利用することができ、和金(金魚)、タナゴ、クチボソ、ウグイ、フナなどの釣りが楽しめる。貸し竿サービスもある。



6 上板橋

石神井川が川越街道と交わる場所にある橋。江戸時代には板橋村は上板橋村と下板橋村に分かれていた。今では上板橋という東武東上線板橋駅周辺を指すことが多い。